



USHA JAPAN 2023 年度活動報告



(ニュースレターVol.4)

NGO 団体 USHA JAPAN

〒 570-0083

大阪府守口市京坂本通 1 丁目 4-8 (ディープスリーカレー内)

TEL : 06-6997-0655

E-Mail : ushajapan@gmail.com



USHA JAPAN のロゴマークが
新たに決定しました！

新体制発足！

2023 年 7 月 15 日 (土)、第 5 回総会が開催され新旧役員の引継ぎが行われました。

新体制での活動がスタートし、小野前会長は名誉会長に就任いただきオブザーバーとして、当団体の相談役として活動を見守っていただいております。発足当時より団体を支え活動をしてこられた皆さま、大変お疲れさまでした。

これまでの活動の意思を受け継ぎながら、新たな発展を目指して頑張ってください。



第 5 回総会の様子：団体事務所にて

小野一男名誉会長ご挨拶



新たな時代への挑戦

2018 年 10 月 7 日に神戸常盤大学において本会の設立総会が行われ、本年 2024 年総会で 6 年を経過しました。USHA の名が示す朝日に光り輝くエベレストのシンボルマークを掲げ、現副会長の Prakash 氏に仰ぎ多くのネパール人や日本人が参画し様々な活動が行われてきましたが、Covid19 パンデミックにより本来のボランティア活動は行えずオンライン会務を余儀なくされ、大幅な組織と活動の見直しが行われました。その結果、残念ながら組織の弱体化と人材の離散を招きました。とりわけ、本

会創設にかかわったネパール人役員の多くが未だ復帰に到らないのは残念で、原点復帰を待望しています。

さて、これからの USHA ですが、酒井会長を中心に強い絆で結ばれた医療・教育人材が役員を占め、強固な組織力に期待です。活動は HP で謳われている「前例や過去にとらわれず、強い意志ある挑戦で、新しい時代を創る」という理念の下で実践されています。役員および会員に求められるのは、個々のボランティア精神と強い使命感そして連帯感です。新たなグローバル時代における本会の活躍を祈念しています。

酒井ひろ子新会長ご挨拶



2010年にネパールの右も左もわからないまま小野一男前会長のもと国際支援活動に飛び込んだ私に、素晴らしい出会いと、さまざまな経験を与えてくださった皆様へ心から感謝しています。

JICA 草の根技術協力事業や科学研究費助成事業で、ネパールの山岳地域や農村部を拠点した活動や研究を進めながら、ネパールの人々の生活を知りました。そこにはカースト制度やネパール人に広く信仰されているヒンドゥー教が人々の暮らしに大きく影響していて、貧困問題や健康問題を深刻化・複雑化させていることに気づきました。

そして我々にできることは、極わずかで限界を感じる経験もたくさんありました。そのような中でも、情熱をもって取り組む現地や NGO の仲間を支えられ、女性と子どもたちの「できない」を「できる」に変えていくための新たな道を切り拓くプロジェクトが続いています。2023年7月をもって小野一男会長が退任し、元 USHA JAPAN の副会長の酒井ひろ子が新会長として、その職を引き継ぎ新しい体制となりました USHA JAPAN にご期待ください！小さな組織であっても、真実を発信し続け現地の人々と共に課題の解決に向けて、学び合う、支え合うという関係とそれぞれの立場で共に対峙することができればネパールの「貧困」「格差」「不平等」「健康課題」を改善する糸口が見つかること、そして多くの困難を抱えた日本も、ともに「元気」になれる架け橋になれるように USHA JAPAN は日々努力いたします。

2023 年度の活動報告

現地 PHC 活動

酒井会長がネパールに渡航し、JICA 草の根技術協力事業の活動拠点であったマチャプチャレ行政村ロード5に訪問し、コミュニティヘルスワーカー・助産師・村長と面会し、現地の住民の様子を含めて現状を視察しました。現地の活動リーダーであるジャナク氏主導のもとで、高齢者の集会や健康チェックを行う「エルダリープログラム」が継続しており、高齢の住民は新たなプロジェクトの開催を心待ちにしている状況でした。



エルダリープログラムの様子（写真：ジャナク氏提供）

HANAMIZUKI の来日前教育視察

カトマンズにある日本語学校の HANAMIZUKI を訪問し、日本に来日する特定技能実習生がどのような準備を経て来日に至るのかを見学してきました。HANAMIZUKI では、日本語の習得だけでなく、日本での生活や実習時のマナーなどについても授業が行われており、学生たちの眼差しは希望に溢れていました。しかし、ネパールで学んで来日しても、言葉の壁や生活様式の相違、厳しい労働環境に直面し、ストレスから健康を維持することが難しくなる人もおり、国内における支援の必要性を改めて認識しました。



写真：酒井会長 HANAMIZUKI への訪問（2023年8月）

現地の研究活動

国際共同研究強化（B）により、思春期から開始する女性の栄養改善を目的とした研究は、アンナプルナ行政村を中心に予定通り進んでおります。



写真：ネパールの若者を対象とした勉強会



写真：ポカラ大学にて、右から現地コミュニティヘルスワーカーのジャナク氏、酒井会長、ポカラ大学教授、前 JAICA プロジェクトメンバーの小田氏、ポカラ大学教員（2023年8月）

震災支援

2023年11月日本時間の11月4日午前3時ごろ、ネパール西部を震源としたマグニチュード6.4の地震が発生しました。当団体も現地での支援を検討し、皆様に寄付のお願いいたしましたところ、温かいお気持ちを頂きました。皆様より集まった寄付金は、少しでも現地で復興支援に役立てていただくことと行政の担当者と用途を調整中です。支援内容は追ってご報告させていただきます。



写真：2023年11月ネパール地震現場の様子

国内活動

2023年度は、技能実習生や特定技能生をはじめ、在日ネパール人の日本での生活適応に向けた支援を展開するための教材の作成を行いました。現在、作成した資料をホームページにて掲載していますので、ご一読ください。

ネパール人女性の初婚年齢は若く思春期から始まるプレコンセプションケア* (Preconception care) が非常に重要です。

追って研究成果や現地状況をお伝えします。

* プレコンセプションケア * 将来の妊娠を見据え女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うことです。



2024 年度活動に向けて

今年度は、ネパール現地で継続されているプライマリ・ヘルス活動とともに、国内において技能実習生で来日した在日ネパール人の日本での生活適応に向けた支援として、2023 年度に引き続き、生活適応こころの問題、セクシュアリティに関する支援を展開していく予定です。また、HANAMIZUKI と連携し、在日ネパール人の支援として健康に関する相談会、研修会なども開催予定です。



写真：定例会議の様子（2024 年 6 月）

会員を募集しています。

USHA JAPAN では、会員を募集しています！

「ネパール人を応援したい」、「ネパール現地で支援に参加してみたい」、「日本で頑張っているネパール人を支援したい」、「開発教育に興味がある」、「ネパールで保健医療活動してみたい」、「ネパールに興味がある」などなど・・・人によって理由は様々です。

年齢や性別、国籍は問いません。

支援に参加することでネパールと日本双方の発展にとつながる架け橋を一緒にかけてみませんか？

会員の皆様にお知らせ

ご住所、電話番号など、登録内容が変更になった場合は、事務局までご連絡をお願いします。

あとがき

新体制での活動も 2 年目に入り、ますます活動に邁進してまいります。

今後の活動をどうぞお楽しみに！

(事務局：神崎)